

(様式②-1) 令和2年度事業計画書 (局・統括本部)

[経済局 商業振興課]

| |
|-------------|
| 事業名 |
| 5 款 1 項 6 目 |
| 商店街販売促進支援事業 |

| 特記事項 | |
|------------|--------------------------|
| 中期計画-38の政策 | <input type="checkbox"/> |
| 中期計画-行政運営 | |
| 中期計画-財政運営 | |
| 新規・拡充 | <input type="checkbox"/> |

| 中期計画-38の政策 | |
|------------|--------|
| 政策番号 | 主な施策番号 |
| 1 | 4 |
| | |
| | |

| | |
|----------------------|------------|
| 令和元年度 事業評価書 番号 | 5-1-6 2 |
| 令和元年度 事業評価書 番号 | |

(単位：千円)

| 区分 | 金額 | 財源内訳 | | | | 一般財源等 | |
|--------------|--------|-------|---|---|---|-------|--------|
| | | 国 | 県 | | | 市債 | 一般財源 |
| 令和2年度 | 10,000 | 0 | | | | | 10,000 |
| 補助事業 単独事業 | | 補助率 % | | | | | |
| 令和元年度 | 9,000 | | | | | | 9,000 |
| 増△減 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 |

| 歳出 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------|-------|--------|--------|--------|
| 予 事業費 | 8,000 | 8,000 | 10,000 | |
| 算 市債+一般財源 | 8,000 | 8,000 | 10,000 | |
| 決 事業費 | 8,219 | 8,000 | 8,497 | |
| 算 市債+一般財源 | 8,219 | 8,000 | 8,497 | |

| 歳出 | | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 予 事業費 | 9,000 | 9,000 | |
| 算 市債+一般財源 | 9,000 | 9,000 | |

方針に関する決裁 種別()
有 () ・無

【 事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容 】

事業の概要

一般社団法人横浜市商店街総連合会が平成23年度より実施している投票による販売促進キャンペーンの実施に必要な支援を行い、キャンペーンを媒体とした商店街の活性化を促進します。

2年度実施内容

- 一般社団法人横浜市商店街総連合会と連携して、商店街で多くの取扱があり、消費者に親しまれている商品を題材とした販売促進キャンペーンの取組を支援し、更なる消費者への話題提供並びに参加店舗・商店街への来店行動につなげます。
- 受賞店と所属商店街のPRのための、アフタープロモーションを実施します。

【 実績の推移・今後見込み 】

- 21年度 「横浜開港150円商店街」：統一開催5回(1日×5回)
- 22年度 「横浜Y. Y. 150円商店街」：統一開催4回(2日×2回)及び参加商店街の任意開催
- 23年度 「横浜“震災復興支援”150円商店街」開催1回及び参加商店街の任意開催
「ガチでうまい横浜の商店街コロッセNo.1決定戦」：参加数38店舗
- 24年度 「ガチでうまい横浜の商店街あまいものNo.1決定戦」：参加数82店舗
「150円商店街」等の販売促進イベントを開催する商店街の個別支援
- 25年度 「ガチでうまい横浜の商店街井ものNo.1決定戦」：参加数77店舗
「150円商店街」等の販売促進イベントを開催する商店街の個別支援
- 26年度 「ガチでうまい横浜の商店街カレーNo.1決定戦」：参加数73店舗
- 27年度 「ガチでうまい横浜の商店街めん類No.1決定戦」：参加数54店舗
アフタープロモーションとして「ガチ!シリーズ パーフェクトガイドブック」を発行
- 28年度 「ガチでうまい横浜の商店街あげものNo.1決定戦」：参加数51店舗
- 29年度 「ガチでうまい横浜の商店街チョコスイーツNo.1決定戦」：参加数52店舗
- 30年度 「ガチでうまい横浜の商店街チャーハンNo.1決定戦」：参加数40店舗
アフタープロモーションとして、過去3年の金賞受賞店の紹介映像制作
- 元年度 「ガチでうまい横浜の商店街ハンバーグNo.1決定戦」：参加数47店舗
「ガチ!」シリーズ アフタープロモーションの実施
- 2年度 「ガチでうまい横浜の商店街○○No.1決定戦」
「ガチ!」シリーズ アフタープロモーションの実施

【 事業費の内訳 】

| | 2年度 | 元年度 | 差 引 | 説 明 |
|----------------------|--------|-------|-------|--------------------|
| 商店街活性化等事業補助金(販売促進事業) | 8,000 | 8,000 | 0 | |
| ガチ!シリーズアフタープロモーション | 2,000 | 1,000 | 1,000 | ガチ!シリーズ10周年による事業拡充 |
| 合 計 | 10,000 | 9,000 | 1,000 | |

【 事業スケジュール 】

- 市民投票による販売促進キャンペーン(予定)
- 2年4月 参加商品・店舗発表、PR資料作成
 - 2年6月～7月 市民投票、事業PRイベント実施
 - 2年9月 受賞商品発表
 - 2年9月～3年2月 アフタープロモーション実施

【 事業開始年度 】

平成21年度

【 根拠法令 】

横浜市商店街活性化等事業補助金交付要綱

【 根拠とするデータ等 】

商店街実態調査(30年度)

| | | | |
|--------------------|-------|-------|--------|
| 本資料は、公正・適正に作成しました。 | 課長 | 係長 | 係 |
| | 押見 保志 | 倉持 知子 | 牧島 みどり |

（様式②-1） 令和2年度事業計画書（局・統括本部）

〔 経済局 商業振興課 〕

| |
|----------|
| 事業名 |
| 5款 1項 6目 |
| 商業経営支援事業 |

| | |
|-------------|---|
| 特記事項 | |
| 中期計画-3.8の政策 | ○ |
| 中期計画-行政運営 | |
| 中期計画-財政運営 | |
| 新規・拡充 | ○ |

| | |
|-------------|--------|
| 中期計画-3.8の政策 | |
| 政策番号 | 主な施策番号 |
| 1 | 4 |

| | |
|--------------|------------|
| 令和元年度事業評価書番号 | 5-1-6 1 |
| 令和元年度事業評価書番号 | 5-1-6 3 |

（単位：千円）

| 区分 | 金額 | 財源内訳 | | | | 一般財源等 | |
|-------|--------|------|---|---|---|-------|--------|
| | | 国 | 県 | | | 市債 | 一般財源 |
| 令和2年度 | 87,111 | 0 | | | | | 87,111 |
| 補助事業 | | | | | | | |
| 単独事業 | | 補助率 | % | | | | |
| 令和元年度 | 79,779 | | | | | | 79,779 |
| 増△減 | 7,332 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,332 |

| 歳出 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 予 事業費 | 61,050 | 82,194 | 87,970 |
| 算 市債+一般財源 | 61,050 | 82,194 | 87,970 |
| 決 事業費 | 45,691 | 50,156 | 60,316 |
| 算 市債+一般財源 | 44,274 | 49,062 | 60,316 |

| 歳出 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------|--------|--------|
| 予 事業費 | 87,111 | 87,111 |
| 算 市債+一般財源 | 87,111 | 87,111 |

方針に関する決裁 種別()
有 () 無 ()

商業経営支援事業事業費一覧

| | 2年度 | 元年度 | 差引 |
|-----------------|--------|--------|-------|
| 商店街と個店の相談事業 | 2,000 | 2,500 | △ 500 |
| 商店街個店の活力向上事業 | 11,000 | 11,000 | 0 |
| 小規模事業者設備投資助成事業 | 7,500 | 3,000 | 4,500 |
| 商店街ベストマッチング事業 | 36,000 | 36,000 | 0 |
| 商業活動等支援事業 | 17,000 | 17,000 | 0 |
| 繁盛店づくり支援事業 | 6,000 | 6,000 | 0 |
| キャッシュレス決済導入支援事業 | 2,000 | 0 | 2,000 |
| 事務費 | 5,611 | 4,279 | 1,332 |
| 合計 | 87,111 | 79,779 | 7,332 |

1 商店街と個店の相談事業 2,000千円（前年度 2,500千円）

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

商店会及び商店街内の個店の相談を受けて、その困っていることや、やりたいことを明らかにし、明らかになった課題に応じて経営相談や視察、研修会等の方法により解決に導くとともにその経費を補助し、商店街等の活性化を促進します。

- (1) 相談者 市内商店会、商店街内の個店等
 (2) 課題解決メニューの利用 相談の結果、課題解決メニューの実施が必要な場合は、次のメニューが利用できます。
 (3) 課題解決メニューの内容

| 番号 | 内容 | 利用可能メニュー | | | 補助率 | 補助限度額 |
|----|---|----------|-------|----|-----|-------|
| | | 商店会 | 実行委員会 | 個店 | | |
| 1 | 任意商店会が法人を設立するとき | ○ | — | — | 定額 | 10万円 |
| 2 | 外部専門家の経営相談等を受けるとき （勉強会等の開催に伴う助言等も含む） | ○ | ○ | — | 2/3 | 30万円 |
| 3 | 実態把握のため、現状調査等の実施を専門機関に依頼するとき | ○ | — | — | | 100万円 |
| 4 | 商店会が事務業務を外部委託するとき | ○ | — | — | 1/2 | 30万円 |
| 5 | 他の機関が実施する研修・講演会等（他商店街の視察含む）に参加するとき | ○ | ○ | ○ | | 20万円 |
| 6 | その他課題解決のために必要であると市長が認めたもの | ○ | ○ | ○ | | 20万円 |

【実績及び今後見込み】

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|------|------|------|-------|-------|
| 補助金交付件数 | 5件 | 3件 | 7件 | 10件 | 7件 |

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----|-------|-------|-------|---|
| 補助金 | 2,000 | 2,500 | △ 500 | @1,000千円×1件 @300千円×1件 @200千円×2件 @100千円×3件 |
| 合計 | 2,000 | 2,500 | △ 500 | |

【事業スケジュール】

- 2年4月 商店会への事業説明、申請書の配付
 3年1月 申請書の受付締切
 3年2月 実績報告書の受領

【事業開始年度】

平成16年度 ※平成22年度までは、商店街からの依頼に応じて専門家を派遣する商店街経営支援事業を実施

【根拠法令】

横浜市商店街と個店の相談事業補助金交付要綱

【根拠とするデータ等】

商店街実態調査（30年度）

2 商店街個店の活力向上事業 11,000千円（前年度 11,000千円）

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

商店街に加盟している店舗において、個店の活力を向上させ事業継続に繋がる事業に対する経費の一部を補助します。

【実績の推移・今後見込み】

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|------|------|------|-------|-------|
| 補助金交付件数 | 9件 | 16件 | 13件 | 12件 | 13件 |

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----|--------|--------|--------|-------------------------|
| 補助金 | 10,400 | 9,600 | 800 | |
| 広告費 | 0 | 1,000 | △1,000 | 有料広告の費用対効果が小さく、掲載をやめるため |
| その他 | 600 | 400 | 200 | 講師謝金、印刷製本費 |
| 合計 | 11,000 | 11,000 | 0 | |

【事業スケジュール】

2年4月～ 募集開始
※予算執行状況により追加募集を実施

【事業開始年度】

平成27年度

【根拠法令】

商店街個店の活力向上事業補助金交付要綱

【根拠とするデータ等】

商店街実態調査（30年度）

3 小規模事業者設備投資助成事業 7,500千円（前年度 3,000千円）

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

商店街に加盟の小規模事業者や小売業者等が、キャッシュレス決済対応端末の購入やLED照明の導入など、生産性向上や業務改善のために行う少額設備導入にかかる経費の一部を補助します。また、事例集を作成し事業の周知を図ります。

【実績の推移・今後見込み】

| | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|-------|-------|
| 補助金交付件数 | 37件 | 70件 |

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 補助金 | 7,000 | 3,000 | 4,000 | @100千円×70事業者 |
| 事例集作成 | 500 | 0 | 500 | 委託料、印刷費 |
| 合計 | 7,500 | 3,000 | 4,500 | |

【事業スケジュール】

2年4月 事業周知
2年5月～ 補助申請受付開始
～3年3月 補助金交付

【事業開始年度】

令和元年度

【根拠法令】

小規模事業者設備投資補助金交付要綱

【根拠とするデータ等】

経済センサス基礎調査（26年度）、商店街実態調査（30年度）

4 商店街ベストマッチング事業 36,000千円（前年度 36,000千円）

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

(1) 空き店舗コンサルティング事業

空き店舗の解消に向けて、商店街・まちづくりに関する経験が豊富なコーディネーター・市が一体となって、空き店舗ツアー、セミナー等を実施し、地域の賑わいや交流の場となる店舗誘致や、担い手育成に向けた事業を進めます。

(2) 空き店舗改修事業

商店街にある空き店舗で活用しにくい状態にある物件の改修費の一部を補助するほか、商店街が空き店舗を活用して自ら行う事業に対する改修費等の一部を補助します。

(3) 店舗誘致事業

商店街にある空き店舗で条件を満たして開業する方に対し、開業にかかる経費の一部を補助するとともに、経営相談等の事業継続につながる支援を行います。
また、店舗誘致を目的として、商店街の空き店舗を登録する商店会に対して奨励金を交付します。

【実績の推移・今後見込み】

(1) 空き店舗コンサルティング事業

| | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|----------|-------------|-------------|--------------|
| 支援対象商店街数 | 6 (開業9件) | 6 (開業0件) | 6 (開業10件) |

(2) 空き店舗改修事業

| | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|------|-------|-------|
| 補助金交付件数 | 4件 | 6件 | 6件 |

(3) 店舗誘致事業

| | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|------|-------|-------|
| 補助金交付件数 | 19件 | 20件 | 20件 |

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|----------------|--------|--------|---------|---------------------------------|
| 空き店舗コンサルティング事業 | 11,000 | 9,000 | 2,000 | 事業見直しによる増 |
| 空き店舗改修事業 | 9,000 | 10,000 | △ 1,000 | 実績に応じた交付見込件数の変更及び事例集の作成委託完了による減 |
| 店舗誘致事業 | 16,000 | 17,000 | △ 1,000 | 交付見込みの見直しによる減 |
| 合計 | 36,000 | 36,000 | 0 | |

【事業スケジュール】

(1) 空き店舗コンサルティング事業

委託契約手続き(2年4月)、テナント誘致(2年5月～)、報告書提出(3年3月)

(2) 空き店舗改修事業

申請者募集(2年4月～3年2月)、事業者支援(2年4月～)、実績報告書提出(3年3月)

(3) 店舗誘致事業

開業者募集(通年)、事業者支援(通年)、登録店舗募集(通年)

【事業開始年度】

(1) 空き店舗コンサルティング事業

平成29年度

(2) 空き店舗改修事業

平成29年度

(3) 店舗誘致事業

平成8年度(空き店舗活用事業)、平成25年度(店舗誘致事業)

【根拠法令】

(1) なし

(2) 横浜市空き店舗改修事業補助金交付要綱

(3) 横浜市商店街店舗誘致事業補助金交付要綱、横浜市商店街店舗誘致事業奨励金交付要綱

【根拠とするデータ等】

商店街実態調査(30年度)

5 商業活動等支援事業 17,000千円 (前年度 17,000千円)

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

(1) 一般社団法人横浜市商店街総連合会が実施する商店街活性化事業に対する支援

一般社団法人横浜市商店街総連合会が実施する商店街活性化事業の事業費及び運営費を補助します。

2年度 商店街活性化事業の主な内容(見込み)

ア 機関紙・ホームページ等を活用し、会員並びに消費者に対して商店街情報を発信します。

イ その他、商店街活性化を目的とした研修事業、顕彰事業(従業者表彰ほか)等を開催します。

(2) 横浜ファッション振興事業

地場産業である横浜スカーフをはじめとした横浜市内のファッション産業の振興、生活文化産業の発展を目的とした横浜ファッションウィーク事業を支援します。

【実績の推移】

(1) 一般社団法人横浜市商店街総連合会

ア 一般社団法人横浜市商店街総連合会加盟商店街の推移(各年6月1日時点)

| 年度 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 元 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 商店会数 | 306 | 295 | 289 | 281 | 272 | 272 | 271 | 267 | 256 | 251 |
| 前年度との差異 | △ 11 | △ 11 | △ 6 | △ 8 | △ 9 | 0 | △ 1 | △ 4 | △ 11 | △ 5 |
| 会員数 | 12,356 | 11,805 | 11,502 | 11,105 | 11,000 | 10,887 | 10,791 | 10,647 | 10,322 | 10,192 |
| 前年度との差異 | △ 335 | △ 551 | △ 303 | △ 397 | △ 105 | △ 113 | △ 96 | △ 144 | △ 325 | △ 130 |

イ 商店街情報発信事業(機関紙の発行、ホームページの運営等)

ウ 「消費者と商店街を結ぶ集い(ハートフルコンサート)」開催

エ その他商店街活性化事業(研修事業、顕彰事業等)

(2) 横浜ファッション振興事業（横浜ファッションウィーク開催実績）

| 開催年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
|---------|----------|----------|----------|----------|---------------|----------|
| 期間 | 4/25～5/6 | 4/25～5/6 | 4/22～5/5 | 4/28～5/7 | 4/29～5/6、5/13 | 4/27～5/4 |
| 来場者数（人） | 51,000 | 40,000 | 44,600 | 5,000 | 5,500 | 4,000 |

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----------------|--------|--------|----|----|
| 商店街活性化等事業補助金 | 16,000 | 16,000 | 0 | |
| 横浜ファッションウィーク補助金 | 1,000 | 1,000 | 0 | |
| 合計 | 17,000 | 17,000 | 0 | |

【事業スケジュール】

- (1) 商店街情報発信事業（機関紙発行／年3回（5・9・2月）発行（予定）、ホームページの運用／随時更新）
- (2) その他商店街活性化事業（随時実施）
- (3) 2020横浜ファッションウィーク（2年4月下旬～5月上旬開催予定）

【事業開始年度】

- (1) 一般社団法人横浜市商店街総連合会に対する支援 昭和39年度
- (2) 横浜ファッション振興事業 平成19年度

【根拠法令】

横浜市商店街活性化等事業補助金交付要綱
横浜ファッションウィーク補助金交付要綱

【根拠とするデータ等】

商店街実態調査（30年度）
商業統計調査 横浜市結果報告（26年度）

6 繁盛店づくり支援事業

6,000 千円（前年度 6,000 千円）

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

市内外の大型店等の商業施設やイベント等と連携し、市内商店街の店舗が外部出店をする機会を創出することにより、新たな顧客の獲得や販売ノウハウを学ぶ機会を提供するとともに、商店街の個性豊かな店舗を幅広くPRし、来街者の増加につながるよう支援します。

【実績及び今後見込み】

| 年度 | 28年度実績 | 29年度実績 | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|-------|--------|--------|------|-------|-------|
| 販売会回数 | 3件 | 3件 | 3件 | 3件 | 3件 |
| 出店店舗数 | 17店 | 16店 | 15店 | 15店 | 15店 |

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|------------|-------|-------|----|----|
| 繁盛店づくり支援事業 | 6,000 | 6,000 | 0 | |
| 合計 | 6,000 | 6,000 | 0 | |

【事業スケジュール】

2年4～6月 大型店等の連携先との事業相談・調整
2年7～8月 実施内容、出店者調整
2年9月～3年3月 事業実施、振り返り

【事業開始年度】

平成28年度

【根拠とするデータ等】

商店街実態調査（30年度）

7 キャッシュレス決済導入支援事業

2,000 千円（前年度 0 千円）

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

商店街が一体となってキャッシュレス決済に取り組む『モデル商店街』における実証実験や、『モデル商店街』をめぐるキャッシュレス商店街ツアー等を通じて、市内の商店街におけるキャッシュレス決済の導入を支援します。

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----------------|-------|-----|-------|---------|
| キャッシュレス決済導入支援事業 | 2,000 | 0 | 2,000 | 新規事業による |
| 合計 | 2,000 | 0 | 2,000 | |

【事業スケジュール】

2年4月～6月 モデル商店街の募集、選定
2年7月～12月 モデル商店街におけるキャッシュレス決済の推進（実証実験等）
3年1～3月 キャッシュレス商店街ツアーの実施

【事業開始年度】

令和2年度

【根拠とするデータ等】

商店街実態調査（30年度）

8 事務費 5,611 千円 (前年度 4,279 千円)

【 事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容 】
各事業に係る経費の執行（旅費、自動車借上げ、印刷製本費等）

【 実績の推移・今後見込み 】
元年度の実績に基づき、3年度以降の予算額を決定していきます。

【 事業費の内訳 】

| | 2年度 | 元年度 | 差 引 | 説 明 |
|-----------|-------|-------|-------|-------------------|
| 事務費 | 4,961 | 4,279 | 682 | |
| 防災協定関係事務費 | 650 | 0 | 650 | 事務費の移管（ソフト支援事業から） |
| 合計 | 5,611 | 4,279 | 1,332 | |

【 根拠とするデータ等 】
30年度決算額

| | | | |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 本資料は、公正・適正に作成しました。 | 課長 | 係長 | 係 |
| | 押見 保志 | 倉持 知子 | 遠藤 貴史 |

(経済 局 -)

(様式②-1) 令和2年度事業計画書 (局・統括本部)

[経済局 商業振興課]

| 事業名 | |
|-------------|--|
| 5 款 1 項 6 目 | |
| 商店街ソフト支援事業 | |

| 特記事項 | |
|------------|---|
| 中期計画-38の政策 | |
| 中期計画-行政運営 | |
| 中期計画-財政運営 | |
| 新規・拡充 | ○ |

| 中期計画-38の政策 | |
|------------|--------|
| 政策番号 | 主な施策番号 |
| | |
| | |

| | |
|----------------------|------------|
| 令和元年度 事業評価書 番号 | 5-1-6 4 |
| 令和元年度 事業評価書 番号 | |

(単位：千円)

| 区分 | 金額 | 財源内訳 | | | | 一般財源等 | |
|--------------|--------|------|---|---|---|-------|--------|
| | | 国 | 県 | | | 市債 | 一般財源 |
| 令和2年度 | 75,500 | 0 | | | | | 75,500 |
| 補助事業 単独事業 | | 補助率 | % | | | | |
| 令和元年度 | 69,150 | | | | | | 69,150 |
| 増△減 | 6,350 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,350 |

| 歳出 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 予 事業費 | 63,698 | 60,698 | 69,798 |
| 算 市債+一般財源 | 63,698 | 60,698 | 69,798 |
| 決 事業費 | 63,637 | 65,474 | 66,760 |
| 算 市債+一般財源 | 63,564 | 65,474 | 66,760 |

| 歳出 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------|--------|--------|
| 予 事業費 | 76,000 | 76,000 |
| 算 市債+一般財源 | 76,000 | 76,000 |

方針に関する決裁 種別()
有 () ・ 無 ()

| | 2年度 | 元年度 | 差引 |
|----------------|--------|--------|-------|
| 商店街ソフト支援事業 | 7,500 | 8,150 | △ 650 |
| 商店街活性化イベント助成事業 | 38,000 | 33,000 | 5,000 |
| 安全・安心な商店街づくり事業 | 30,000 | 28,000 | 2,000 |
| 合計 | 75,500 | 69,150 | 6,350 |

1 商店街ソフト支援事業 7,500千円 (前年度 8,150千円)

【 事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容 】

商店街ソフト支援事業については、商店街等の団体自らが立案した計画に基づいて実施する賑わいづくり、認知度向上のためのソフト事業（イベント以外）や地域団体と連携し実施する事業に対し支援します。

| | 商店街ソフト支援事業 | | |
|-------|---|--|---|
| | ソフト支援 | 情報発信支援 | 商学連携支援 |
| 補助対象 | 市内商店街等 | | 市内商店街、区商店街連合会、商店街と大学等で構成する実行委員会 |
| 補助内容 | 商店街ブランド商品開発、街バルの実施、商店街情報などを盛り込んだ情報誌やガイドブックの作製、ホームページの作成等にかかる費用を補助 | 次の費用を補助 ・マップ作製・修正・増刷 ・ホームページの更新・修正 | 商店街が大学等と連携・協働して行う活性化への取組や活性化策の検討を行う事業費を補助 |
| 補助率 | 1/2 (よこはまウォーキングポイント事業又は地産地消事業に関連して取組む内容については2/3) | 2/3 | 1/2 |
| 補助限度額 | 実行委員会及び単会商店会 30万円 複数商店街 60万円 区商店街連合会 100万円 | 10万円 | 60万円 |

【 実績の推移・今後見込み 】

| | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|------|------|------|------|-------|-------|
| 補助金交付件数 | 21件 | 29件 | 29件 | 28件 | 30件 | 30件 |

【 事業費の内訳 】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----|-------|-------|-------|---|
| 補助金 | 7,500 | 7,500 | 0 | @1,000千円×1、@300千円×12、@200千円×12、@100千円×5 |
| 事務費 | 0 | 650 | △ 650 | 商業経営支援事業へ集約 |
| 合計 | 7,500 | 8,150 | △ 650 | |

【 事業スケジュール 】

2年4月 商店会への事業説明・申請書配付
2年4月～3年1月 申請書受付
3年3月 実績報告書受領

【 事業開始年度 】

平成21年度 プラン実践支援（H17～）、商学連携支援（H16～）、魅力UP支援をソフト支援事業として開始
 平成24年度 プラン実践支援をソフト支援に変更、情報発信支援を追加
 平成26年度 魅力UP支援をソフト支援に統合

【 根拠法令 】

横浜市商店街ソフト支援事業補助金交付要綱

【 根拠とするデータ等 】

商店街実態調査（30年度）、消費者購買行動意識調査（30年度）

2 商店街活性化イベント助成事業 38,000 千円 （前年度 33,000 千円）

【 事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容 】

(1) 事業の目的

魅力ある商店街づくりや地域コミュニティの醸成及び商店街の活性化を図ります。

(2) 実施内容

商店街が地域内の交流や賑わいを創出するために実施するイベントに要する経費を補助します。

※区内商店街が実施するイベントに係る補助は各区が制定する要綱により実施し、複数区にまたがり実施するイベントに係る補助については経済局が定める要綱により実施します。

| | 補助率 | 補助限度額 | 補助要件 |
|---------|-----|---------|--------------------|
| 区内イベント | 1/2 | | 各区で制定している要綱に規定 |
| 複数区イベント | 1/2 | 1,000千円 | 市内複数区にまたがり実施するイベント |

【 実績の推移・今後見込み 】

| | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|------|------|------|------|-------|-------|
| 補助金交付件数 | 135件 | 137件 | 135件 | 135件 | 140件 | 149件 |

【 事業費の内訳 】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|---------|--------|--------|---------|--------------|
| 区内イベント | 37,000 | 31,000 | 6,000 | 実績に合わせた積算見直し |
| 複数区イベント | 1,000 | 2,000 | △ 1,000 | |
| 合計 | 38,000 | 33,000 | 5,000 | |

【 事業スケジュール 】

2年4月 商店街への事業説明
 2年6月 申請書の受付締切
 3年3月 実績報告書の受領

【 事業開始年度 】

昭和62年度

【 根拠法令 】

横浜市商店街活性化イベント助成事業補助金交付要綱

【 根拠とするデータ等 】

商店街実態調査（30年度）、消費者購買行動意識調査（30年度）

3 安全・安心な商店街づくり事業 30,000 千円 （前年度 28,000 千円）

【 事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容 】

地域の防犯対策に対する市民意識が高まっている中、商店街の街路灯が地域の防犯にも寄与していることから、商店街が負担する街路灯の電気料等の一部を補助し、安全・安心な地域づくりを推進します。

(1) 申請者

市内商店街

(2) 補助対象要件

防犯パトロールを補助対象期間内に規定回数以上実施すること。
 街路灯を適正に維持管理し、地域防犯のため店舗閉店後も街路灯を点灯させること。

(3) 補助対象事業期間

申請前年度の1月から申請年度の12月まで

(4) 補助内容

商店街が維持管理する街路灯電気料金・ガス料金について助成

ア 補助率

1/2

イ 補助限度額

50万円

【 実績の推移・今後見込み 】

| | 27年度 | 28年度績 | 29年度 | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|------|-------|------|------|-------|-------|
| 補助金交付件数 | 157件 | 164件 | 160件 | 161件 | 160件 | 160件 |

< 2年度内訳 >

LED等省エネ電灯の商店街 @162千円×125=20,250千円

それ以外の商店街 @265千円×35=9,275千円

（補助金の平均交付額×申請見込商店街）

【 事業費の内訳 】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----|--------|--------|-------|-------------------------------------|
| 補助金 | 30,000 | 28,000 | 2,000 | 省エネ電灯以外の街路灯への補助率を1/3から1/2へ上げたことに伴う増 |
| 合計 | 30,000 | 28,000 | 2,000 | |

【 事業スケジュール 】

2年1～12月 事業実施
 2年4月 商店街への事業説明
 3年1月 申請書及び実績報告書の締切

【 事業開始年度 】

平成17年度

【 根拠法令 】

横浜市安全・安心な商店街づくり事業補助金交付要綱

【 根拠とするデータ等 】

商店街実態調査（30年度）

| | | | |
|--------------------|-------|------|-------|
| 本資料は、公正・適正に作成しました。 | 課長 | 係長 | 係 |
| | 押見 保志 | 原 弘岳 | 水尾 淑恵 |

(経済 局 -)

(様式②-1) 令和2年度事業計画書(局・統括本部)

[経済局 商業振興課]

| 事業名 | |
|-------------|--|
| 5款 1項 6目 | |
| 商店街環境整備支援事業 | |

| 特記事項 | |
|------------|--|
| 中期計画-38の政策 | |
| 中期計画-行政運営 | |
| 中期計画-財政運営 | |
| 新規・拡充 | |

| 中期計画-38の政策 | |
|------------|--------|
| 政策番号 | 主な施策番号 |
| | |
| | |

| | |
|----------------------|------------|
| 令和元年度 事業評価書 番号 | 5-1-6 5 |
| 令和元年度 事業評価書 番号 | |

(単位：千円)

| 区分 | 金額 | 財源内訳 | | | | 一般財源等 | |
|--------------|---------|------|---|---|---|-------|---------|
| | | 国 | 県 | | | 市債 | 一般財源 |
| 令和2年度 | 36,630 | 0 | | | | | 36,630 |
| 補助事業 単独事業 | | 補助率 | % | | | | |
| 令和元年度 | 42,626 | | | | | | 42,626 |
| 増△減 | △ 5,996 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 5,996 |

| 歳出 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 予 事業費 | 48,146 | 41,387 | 35,437 |
| 算 市債+一般財源 | 48,146 | 41,387 | 35,437 |
| 決 事業費 | 34,408 | 30,951 | 27,917 |
| 算 市債+一般財源 | 34,408 | 30,951 | 27,917 |

| 歳出 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------|--------|--------|
| 予 事業費 | 36,630 | 36,630 |
| 算 市債+一般財源 | 36,630 | 36,630 |

方針に関する決裁 種別()
有 () ・ 無 ()

1 商店街環境整備支援事業 30,000千円 (前年度 35,229千円)

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

商店会が行うハード整備(街路灯やアーチ等の設置)に係る経費の一部を補助し、個性と魅力ある街づくりを推進します。また、商店会が実施するアーケード等の安全点検(調査)とその結果に基づく保全計画策定への支援を行うほか、施設の複数年に渡る計画的な改修を支援します。また、2年度からは台風や豪雨等、災害の影響を受けて破損した施設の対応費について、計画認定なしで修繕費の一部を支援を行い、商店街の緊急性の高い課題に寄与します。

【実績の推移・今後見込み】

施設整備の申請商店街数と補助金額の内訳

| | | 28年度※1 | 29年度※1 | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|--|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 街路灯の新設・改修 | 商店街数 | 0商店街 | 3商店街 | 3商店街 | 3商店街 | 1商店街 |
| | 数量 | 0基 | 68基 | 43基 | 70基 | 12基 |
| | 補助金額 | 0 | 3,446 | 6,020 | 6,745 | 1,900 |
| アーケード | 商店街数 | 0商店街 | 1商店街 | 0商店街 | 0商店街 | 0商店街 |
| | 補助金額 | 0 | 5,000 | 0 | 0 | 0 |
| 舗道整備・放送施設 | 商店街数 | 0商店街 | 1商店街 | 1商店街 | 1商店街 | 0商店街 |
| | 補助金額 | 0 | 401 | 888 | 2,550 | 0 |
| サイン施設・アーチ他 | 商店街数 | 0商店街 | 2商店街 | 0商店街 | 2商店街 | 0商店街 |
| | 補助金額 | 0 | 5,023 | 0 | 12,445 | 0 |
| 駐車場整備・車止め | 商店街数 | 0商店街 | 0商店街 | 0商店街 | 0商店街 | 1商店街 |
| | 補助金額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,500 |
| 防犯カメラ | 商店街数 | 6商店街 | 3商店街 | 5商店街 | 3商店街 | 5商店街 |
| | 補助金額 | 8,734 | 2,535 | 6,917 | 4,789 | 7,500 |
| 事務所・集客施設・ 情報化施設等 | 商店街数 | 1商店街 | 1商店街 | 1商店街 | 0商店街 | 1商店街 |
| | 補助金額 | 4,620 | 1,127 | 4,698 | 0 | 2,500 |
| 防災設備等 | 商店街数 | 2商店街 | 0商店街 | 5商店街 | 1商店街 | 2商店街 |
| | 補助金額 | 629 | 0 | 2,156 | 53 | 400 |
| 整備計画策定 | 商店街数 | 0商店街 | 1商店街 | 1商店街 | 0商店街 | 1商店街 |
| | 補助金額 | 0 | 460 | 500 | 0 | 500 |
| アーケード調査・修繕 計画策定 | 商店街数 | | | | 0商店街 | 2商店街 |
| | 補助金額 | | | | 0 | 5,000 |
| Wi-Fi設備 (29年度からインパウンド 対策支援事業に移行) | 商店街数 | 1商店街 | | | | |
| | 数量 | 4基 | | | | |
| | 補助金額 | 484 | | | | |
| 街路灯の撤去 | 商店街数 | 4商店街 | 4商店街 | 2商店街 | 3商店街 | 3商店街 |
| | 数量 | 28基 | 95基 | 8基 | 36基 | 9基 |
| | 補助金額 | 1,781 | 4,105 | 1,602 | 2,057 | 2,400 |
| アーチ・アーケード の撤去 | 商店街数 | 2商店街 | 1商店街 | 3商店街 | 1商店街 | 1商店街 |
| | 数量 | 12基 | 1基 | 14基 | 2基 | 2基 |
| | 補助金額 | 3,996 | 2,092 | 9,950 | 1,500 | 1,500 |
| 災害等緊急対応費 | 数量 | | 41基 | | | 4商店街 |
| | 補助金額 | | 3,692 | | | 5,800 |
| 補助金額 合計 | | 20,244 | 27,881 | 32,731 | 30,139 | 30,000 |

※1: 複数の施設整備を行った商店街があります。

※2: 平成29年度は「商店街施設状況調査」で、施設の倒壊の恐れ等があると判断された施設に限り実施。

【 事業費の内訳 】

| 補助対象内容 | | 補助率(金額) | 補助限度額 |
|-------------------------|---------------------------|-------------|---------------|
| 災害等緊急対応費 (※) | | 補助対象の補助率を適用 | 補助対象の補助限度額を適用 |
| 計画策定費 (※) | | 50% | 50万円 |
| アーケード等安全点検 (調査) 費 (※) | | 2/3 | 100万円 |
| 集客を図る施設 | 街路灯 | 新設 | 14万円/基 |
| | | 改修 | 6万円/基 |
| | アーケード | 50万円 | |
| | 舗道整備、放送施設、広報関連施設、休憩関連施設 | | |
| サイン施設 (案内看板類、片アーチ)、アーチ他 | | | |
| 交通安全・防犯を図る施設 | 50% | 50万円 | |
| 駐車場・駐輪場 | | | |
| 車止め | | | |
| 防災等を図る器具・施設 | 防犯カメラ | 100万円 | |
| | その他の施設 | | |
| 商店会を支える施設 | 商店会事務所、共同事業所、情報化施設、環境保全施設 | 50万円 | |
| | その他の施設 | | |
| 施設の撤去 | 街路灯・アーチ・アーケードの撤去 | 50% | 50万円 |

< 公共工事と一体的な整備工事 >

| 補助対象 | 補助率 | 補助限度額 | |
|------|-------|---------|-----------|
| 計画 | 50% | 150万円 | |
| 設計 | 50% | 1,000万円 | |
| 整備 | 法人商店会 | 25% | 1億5,000万円 |
| | 任意商店会 | 35% | 5,000万円 |

- 【 事業スケジュール 】
 前年度8月末まで 計画認定申請提出
 当年度7月末まで 補助金交付申請提出
 補助金交付決定後 工事発注
 工事終了後 実績報告書提出
 完了検査終了後 補助金交付請求
 (※) は、計画認定なしで実施可能な事業
- 【 事業開始年度 】
 昭和28年度
- 【 根拠法令 】
 横浜市商店街環境整備支援事業補助金交付要綱
- 【 根拠とするデータ等 】
 元年度横浜市商店街環境整備支援事業
 計画認定申請における概算事業費

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----|--------|--------|---------|-----------|
| 補助金 | 30,000 | 35,229 | △ 5,229 | 計画認定申請数の減 |
| 合計 | 30,000 | 35,229 | △ 5,229 | |

2 商店街省エネ型ランプ交換事業

6,630千円 (前年度 7,397千円)

【 事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容 】

商店街の保有する街路灯、アーチ及びアーケードについて、水銀灯等の従来型ランプからLED等の省エネ型ランプへの交換に對しての補助を行うことにより省エネ化をより一層推進するとともに、商店街の街路灯に対する費用負担を軽減し活性化を図ります。

【 実績の推移・今後見込み 】

施設整備の申請商店街数と補助金額の内訳

| | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|--------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 申請商店街数 | | 10商店街 | 3商店街 | 3商店街 | 5商店街 | 5商店街 |
| 数量 | 街路灯 | 290基 | 90基 | 75基 | 86基 | 185基 |
| | アーチ、片アーチ | 32灯 | 0灯 | 12灯 | 0灯 | 0灯 |
| | アーケード | 146灯 | 21灯 | 31灯 | 372灯 | 54灯 |
| 補助金額 | | 8,209 | 3,120 | 2,506 | 7,317 | 6,630 |

【 事業費の内訳 】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----|-------|-------|-------|-----------|
| 補助金 | 6,630 | 7,397 | △ 767 | 計画認定申請数の減 |
| 合計 | 6,630 | 7,397 | △ 767 | |

| 補助対象内容 | | 補助率 | 補助限度額 | |
|-----------------|----------|-----|---------------------|--|
| 省エネ型 ランプ交換事業 | 街路灯 | 50% | 3万円/基 (500万円を上限とする) | |
| | アーチ、片アーチ | | 2万円/灯 (500万円を上限とする) | |
| | アーケード | | | |
| | | | 1,000万円 | |

【 事業スケジュール 】

前年度8月末まで 計画認定申請提出
 当年度7月末まで 補助金交付申請提出
 当年度3月末まで 実績報告書提出
 完了検査終了後 補助金交付請求

【 事業開始年度 】

平成24年度

【 根拠法令 】

横浜市商店街省エネ型ランプ交換事業補助金交付要綱

【 根拠とするデータ等 】

元年度横浜市商店街省エネ型ランプ交換事業計画認定申請における概算事業費

| | | | |
|--------------------|-------|------|---|
| 本資料は、公正・適正に作成しました。 | 課長 | 係長 | 係 |
| | 押見 保志 | 松永 了 | |

(様式②-1) 令和2年度事業計画書 (局・統括本部)

[経済局 商業振興課]

| |
|--------------|
| 事業名 |
| 5款 1項 6目 |
| 地域商業魅力向上支援事業 |

| 特記事項 | |
|------------|---|
| 中期計画-38の政策 | ○ |
| 中期計画-行政運営 | |
| 中期計画-財政運営 | |
| 新規・拡充 | ○ |

| 中期計画-38の政策 | |
|------------|--------|
| 政策番号 | 主な施策番号 |
| 1 | 4 |
| | |
| | |

| | |
|----------------------|------------|
| 令和元年度 事業評価書 番号 | 5-1-6 6 |
| 令和元年度 事業評価書 番号 | |

(単位：千円)

| 区分 | 金額 | 財源内訳 | | | | 一般財源等 | |
|--------------|---------|------|---|---|---|-------|---------|
| | | 国 | 県 | | | 市債 | 一般財源 |
| 令和2年度 | 44,380 | 0 | | | | | 44,380 |
| 補助事業 単独事業 | | 補助率 | % | | | | |
| 令和元年度 | 53,380 | | | | | | 53,380 |
| 増△減 | △ 9,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 9,000 |

| 歳出 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 予 事業費 | 12,000 | 57,895 | 46,850 |
| 算 市債+一般財源 | 12,000 | 57,895 | 46,850 |
| 決 事業費 | 6,702 | 52,034 | 44,170 |
| 算 市債+一般財源 | 6,702 | 52,034 | 44,170 |

| 歳出 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------|--------|--------|
| 予 事業費 | 41,000 | 41,000 |
| 算 市債+一般財源 | 41,000 | 41,000 |

方針に関する決裁 種別()
有 () ・ 無 ()

地域商業魅力向上支援事業費一覧

(単位：千円)

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|------------------------|---------------|---------------|----------------|---------|
| 魅力ある商店街づくり事業 | 23,500 | 32,500 | △ 9,000 | |
| 商店街活性化のための区・局・事業者等連携事業 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 商店街宅配・出張販売・送迎支援モデル事業 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 商店街フィールドサーベイ事業 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 近くにいいね！GOGO商店街事業 | 0 | 12,500 | △ 12,500 | 事業終了による |
| 商店街関連調査 | 1,000 | 0 | 1,000 | 新規事業による |
| 商店街社会課題チャレンジモデル事業 | 2,500 | 0 | 2,500 | 新規事業による |
| 商店街インバウンド対策支援事業 | 19,000 | 19,000 | 0 | |
| 商店街インバウンド対策支援事業 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 商店街セールスプロモーション事業 | 9,000 | 9,000 | 0 | |
| 大規模小売店舗立地法運用 | 1,880 | 1,880 | 0 | |
| 合計 | 44,380 | 53,380 | △ 9,000 | |

1 魅力ある商店街づくり事業 23,500千円 (前年度 32,500千円)

(1) 商店街活性化のための区・局・事業者等連携事業

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

ア 事業の概要

地域特性や強みを生かした商店街の魅力アップを効果的に進めるため、各区局のほか、企業や学校など様々な分野から新たな発想で商店街を活性化する提案を募集し、多様な視点で商店街の活性化を支援します。

イ 実施内容

各区や企業、地域の団体等から広くアイデアを募集し、商店街の活性化に向けた取組を実施します。
また、令和元年度から実施している水道局と連携した、商店街のミスト装置設置による夏の暑さ対策にも引き続き取り組みます。

【実績の推移・今後見込み】

＜取組件数＞

| | 29年度 | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|------|------|------|-------|-------|
| 実施件数 | 5件 | 6件 | 5件 | 6件 |

＜ミスト設置事業補助金＞

| | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|-------|-------|
| 補助金交付件数 | 4件 | 10件 |

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----|--------|--------|----|----|
| 事業費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 合計 | 10,000 | 10,000 | 0 | |

【事業スケジュール】

区連携：2年4月事業内容検討 7月事業開始 3年3月事業検証

局連携：2年4月～商店会募集・事業実施 3年3月事業検証

事業者等連携：2年4月以降随時 提案募集・事業開始 3年3月事業検証

【事業開始年度】

平成28年度に区局連携魅力ある商店街づくり事業を開始し、平成29年度より対象を拡大

【根拠法令】

区局連携魅力ある商店街づくり事業実施要綱

商店街ミスト装置設置事業補助金交付要綱

【根拠とするデータ等】

商店街実態調査 (30年度)、消費者購買行動意識調査 (30年度)

各区や事業者等からのヒアリング

(2) 商店街宅配・出張販売・送迎支援モデル事業

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

ア 事業の概要

消費者が商店街に期待するサービスである宅配・出張販売・送迎により、消費者の利便性を向上させ、新たな顧客の獲得や商店街の活性化のための取組を支援します。

イ 実施内容

関心のある商店街からモデルプランを募集し、選考の上、経費を補助します。

【実績の推移・今後見込み】

| | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|------|-------|-------|
| 補助金交付件数 | 4件 | 3件 | 5件 |

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----|-------|-------|----|----|
| 補助金 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 合計 | 5,000 | 5,000 | 0 | |

【事業スケジュール】

2年4月～ プラン募集・選考
2年7月～ 事業実施
3年3月～ 検証

【事業開始年度】

平成30年度

【根拠法令】

横浜市商店街宅配・出張販売・送迎支援モデル事業補助対象者選考要綱
横浜市商店街宅配・出張販売・送迎支援モデル事業補助金交付要綱

【根拠とするデータ等】

商店街実態調査（30年度）、消費者購買行動意識調査（30年度）

(3) 商店街フィールドサーベイ事業

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

来街者アンケートなどの実地調査によるデータを用いて、効果的なイベント企画やターゲットを絞った広報・販促活動等商店街活性化に向けた方策をワークショップを開催するなどにより検討します。

【実績の推移・今後見込み】

| | 30年度 | 元年度 | 2年度見込み |
|-------|------|------|--------|
| 対象商店街 | 7商店会 | 5商店会 | 5商店会 |

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|----------------|-------|-------|----|----|
| 商店街フィールドサーベイ事業 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 合計 | 5,000 | 5,000 | 0 | |

【事業スケジュール】

2年5月 対象商店街の募集
2年7月 調査機関との委託契約締結、調査開始

【事業開始年度】

平成30年度

【根拠法令】

なし

【根拠とするデータ等】

データで見る商店街事業商圏調査（29年度）、消費者購買行動意識調査（30年度）

(4) 商店街関連調査

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

新たな商店街活性化策の検討・立案のために、まちづくりの専門家・学識経験者・商店街関係者等へのヒアリング調査等を実施します。

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|---------|-------|-----|-------|---------|
| 商店街関連調査 | 1,000 | 0 | 1,000 | 新規事業による |
| 合計 | 1,000 | 0 | 1,000 | |

【事業スケジュール】

2年4～6月 ヒアリング先、ヒアリング内容、具体的な実施方法の検討
2年7～10月 ヒアリング調査等実施
2年11～12月 ヒアリング結果等のとりまとめ
3年1～2月 新たな支援策等の検討

【事業開始年度】

令和2年度

【根拠法令】

なし

【 根拠とするデータ等 】
 商店街実態調査（30年度）、消費者購買行動意識調査（30年度）

(5) 商店街社会課題チャレンジモデル事業

【 事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容 】

プラスチックごみの削減や子育て世代の支援など、地域・社会が抱える課題について、商業活動の中で解決していくことを目指す商店街の取組を支援します。

【 事業費の内訳 】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----|-------|-----|-------|---------|
| 補助金 | 2,500 | 0 | 2,500 | 新規事業による |
| 合計 | 2,500 | 0 | 2,500 | |

【 事業スケジュール 】

2年4月 商店街への事業説明
 2年4～12月 事業実施
 3年1月 申請書及び実績報告書の受付締切

【 事業開始年度 】

令和2年度

【 根拠法令 】

今後要綱制定予定

【 根拠とするデータ等 】

商店街実態調査（30年度）、消費者購買行動意識調査（30年度）

2 商店街インバウンド対策支援事業 19,000 千円 （前年度 19,000千円）

(1) 商店街インバウンド対策支援事業

【 事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容 】

商店街が行うインバウンド対策事業（ハード事業、ソフト事業）に係る経費の一部について補助を行い、訪日外国人など新たな顧客獲得を目指す商店街づくりを支援します。2年度は「一商店街一国運動」を一新し、市内で開催される国際的なイベントを目的に来街する訪日外国人等の消費取り込みを目的として、地域の文化や魅力を伝えるとともに、交流を作り出す事業に対して支援します。

また、訪日外国人をはじめとする、新たな集客策に取り組む商店街・個店を支援することを目的に、SNSを効果的に活用した情報発信のノウハウについてのセミナーを開催し、商店街・商業事業者の活性化につなげます。

| 事業名 | 商店街インバウンド対策支援事業 | | | |
|---------|--------------------|--------------------------------|----------------------------|---------------|
| | 施設整備 (ハード事業) ※1 | 施設整備以外 (ソフト事業) | | |
| 補助対象 | 市内商店会 | | | |
| 補助内容 | Wi-Fi設備の整備等 | 多言語マップ、多言語HP、その他インバウンド関連媒体の作成等 | キャッシュレス化への取組(勉強会、広報、端末導入等) | ハマの商店街おもてなし事業 |
| 補助率 | 2/3 | | | |
| 補助限度額※2 | ①500万円 | ②100万円 | 50万円 | 50万円 |

※1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会終了後は環境整備支援事業に統合

※2 合算上限 (①+②) =500万円

【 実績の推移・今後見込み 】

| | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|------|-------|-------|
| 補助金交付件数 | 6件 | 8件 | 6件 |

【 事業費の内訳 】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|-----|--------|--------|----|---------|
| 事業費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 補助金、謝金等 |
| 合計 | 10,000 | 10,000 | 0 | |

【 事業スケジュール 】

2年4月 商店街への事業説明、申請書の配布
 2年7月～ セミナー開催
 2年8月 施設整備事業終了
 3年1月 施設整備以外事業 申請受付締切
 3年3月 実績報告書の受領

【 事業開始年度 】

平成29年度

【 根拠法令 】

商店街インバウンド対策支援事業補助金交付要綱

【 根拠とするデータ等 】

商店街実態調査（30年度）

(2) 商店街セールスプロモーション事業

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

30年度に作成した日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語・フランス語のリーフレットや、29年度から開設している外国人観光客向け商店街紹介ウェブサイトを通じて効果的なPRを行います。また、外国人向けメディア等を活用して、市内商店街の魅力外国人観光客に向けて発信します。

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|------------------|-------|-------|----|----|
| 商店街セールスプロモーション事業 | 9,000 | 9,000 | 0 | |
| 合計 | 9,000 | 9,000 | 0 | |

【実績の推移・今後見込み】

| 30年度 | 元年度 | 2年度見込 |
|---|--|--|
| ①商店街紹介ウェブサイト 商店街エリア数 17 | ①商店街紹介ウェブサイト 継続 | ①商店街紹介ウェブサイト 継続 |
| ②リーフレット 日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語・フランス語 | ②リーフレットの配架先拡充 日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語・フランス語 | ②リーフレットの配架先拡充 日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語・フランス語 |
| ③その他情報発信など 海外プロガー、海外メディア、国内旅行代理店の商店街ツアーを5回実施 | ③その他情報発信など 海外プロガー、海外メディアの商店街ツアーを実施 | ③その他情報発信など メディアの効果的な活用によるPR |

【事業スケジュール】

2年4月～

リーフレット配架、商店街ウェブサイト継続、商店街ツアー実施

【事業開始年度】

平成29年度

【根拠法令】

なし

【根拠とするデータ等】

商店街実態調査（30年度）

3 大規模小売店舗立地法運用

1,880千円（前年度 1,880千円）

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

大規模小売店舗立地法に基づき、大型店の設置者に対し、周辺生活環境への配慮等に関する調整を行います。

- (1) 大規模小売店舗立地審議会の運営
- (2) 大規模小売店舗立地及び手続きに係る相談・協議対応
- (3) 大規模小売店舗立地及び関係規定の適正な運用

【実績の推移・今後見込み】

| | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度見込 | 2年度見込 |
|---------|------|------|------|------|-------|-------|
| 大店立地法届出 | 76件 | 70件 | 71件 | 70件 | 80件 | 80件 |

【事業費の内訳】

| | 2年度 | 元年度 | 差引 | 説明 |
|--------------|-------|-------|----|--------|
| 大規模小売店舗立地法運用 | 1,880 | 1,880 | 0 | 報酬、委託等 |
| 合計 | 1,880 | 1,880 | 0 | |

【事業スケジュール】

2年4月～ 大規模小売店舗立地審議会の運営 審議会5回開催（予定）
大規模小売店舗立地及び手続きに係る相談・協議対応
大規模小売店舗立地及び関連規定の適正な運用

【事業開始年度】

平成12年度（大規模小売店舗立地法施行）

【根拠法令】

大規模小売店舗立地法、横浜市大規模小売店舗立地審議会条例

【根拠とするデータ等】

法令に基づき実施する事業

| | | | |
|--------------------|-------|-------|--------|
| 本資料は、公正・適正に作成しました。 | 課長 | 係長 | 係 |
| | 押見 保志 | 鈴木 理恵 | 伊東 志のぶ |

（ 経済 局 ）